

## LED照明への交換時における事故防止について

近年、省エネのために蛍光灯や白熱灯を、長寿命であるLED照明に切り替える家庭が増加しているなか、装着時に回路が破壊されて点灯しなくなったり、安定器が過熱して火災などの事故につながるケースが発生しています。

平成19年度から23年度の5年間で、LED照明の事故は22件とまだ少ないですが、今後LED照明の普及とともに増加することが予想されています。

特に家庭では、台所などに使用されることが多い直管型蛍光灯の取替えの際に発生しています。

事故を防止するため、次の点に十分注意しましょう。

### ～ 注 意 点 ～

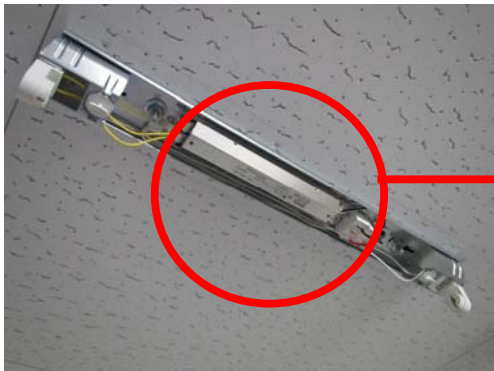
- ・ 現在取り付けられている照明器具にLEDランプが適合するかをまず確認しましょう。
- ・ 確認ができない場合は、販売店や専門業者などに相談しましょう。必要によっては、取り付けも依頼しましょう。

※ 適合しない場合は、「安定器」を取り外したり、配線工事をする必要があります。



※ 蛍光灯には、点灯時に一時的に電圧を上げて放電する必要があるため、電圧を高めた上で電流を安定させる「安定器」が取付けられています。

直管型蛍光灯の例



安定器の例

※ 補足

電球型蛍光灯の場合は、直管型蛍光灯と違い、蛍光灯の「電球」側に安定器の役割を果たす回路が組み込まれているため、LED照明に取り替えても問題はありません。